

目標	細目標	内容
A	地球的視野に基づく思考力 地域に根ざしつつも、地球的視野で人類の自然・生活空間のありよう、環境を多面的に捉え、物事を考える能力	
	A1	社会人として、自分の将来の役割・進むべき方向をグローバルな視点で的確に判断するための基礎的素養となる共通教養を身につける。
	A2	多様な時空間スケールで構成される生活空間（地球・地域・都市・構築物・室内・人間周辺）と自然・風土との相互関係、並びにそのあり方を多面的に捉える能力を身につける。
B	生活空間構築技術者としての責任感と倫理 持続可能な生活空間の構築に寄与する責任感と、社会資本形成にかかわる技術者としての公共心、地域性や文化等に及ぼす技術の影響を理解する能力を身につける。	
	B1	職業人や技術者としての倫理観の欠如から起きた事故や環境汚染の事例を学び、生活空間構築技術者としての倫理的責任を自覚して生活空間のあり方を考える能力を身につける。
	B2	先人の体験、授業を参考に生活空間構築のプロセスと組織の特質を理解し、建築・土木工学分野に対する興味・職業観・使命感を身につける。
C	基礎知識と応用力 生活空間の構築にかかる基礎知識、さらには社会への説明責任や合意形成等の要請に応えるための知識・手段としての数学、自然科学及び情報技術の基本的知識を有し、それらを土木と建築の融合・統合分野に関連する専門技術分野に応用できる能力	
	C1	数学（微分・積分、線形代数、確率統計）、物理学（力学）に関する理論の基礎知識・誘導法を理解し、これを具体的課題に応用できる能力を身につける。
	C2	ワードプロセッサ、表計算、インターネット、プレゼンテーションの情報処理リテラシーを活用できる能力を身につける。
	C3	人間工学や空間構成素材が空間構成に及ぼす影響を理解し、課題設定やデザインに応用できる能力を身につける。
D	社会の要求を見極めた体系的デザイン力 生活空間構築にかかる社会の要求を適切に見極め、合理的な目標を描き、それを実現するための土木と建築の技術を融合・統合した体系的デザイン能力	
	D1	卒業論文又は卒業計画において、研究・設計に対する社会の要求を適切に見極め、合理的な目標を描き、それを実現するための具体的な構想を提案する能力を身につける。
	D2	生活空間に対する多様な要求の特性（階層・地域・歴史等）を理解した上で空間をデザインするための考え方と技法を身につける。
E	論理的思考力・表現力 自らの考えを論理的に整理・評価・論述し適切に表現するとともに、他者と意見交換するために必要な国際的なコミュニケーションの基礎能力	
	E1	数学・自然科学・情報処理工学に関する基本的知識を駆使して、生活空間構築にかかわる課題を論理的に整理し、解答を導出できる思考力を身につける。
	E2	生活空間設計の内容を的確に伝えるための設計図書・模型制作・パース作成・デッサン、プレゼンテーション等のための基礎的能力を身につける。
	E3	英語を基本とする外国語により表現される内容を理解するとともに、自分の考えを相手に伝える国際的なコミュニケーションの基礎能力を身につける。
	E4	人間工学をはじめとする多様な視点から生活空間の構成・機能を理解・整理し、それらを数値・規模・配置などにより合理的かつ客観的に総合・評価する能力を身につける。
F	課題設定力 自らの生活の中から問題を発見したり物事を実践を通して自主的に考え、課題設定・計画・遂行しうよう継続的に学習・思考する能力	
	F1	卒業論文又は卒業計画において研究の社会的位置づけを理解し、的確な研究課題を設定する能力を身につける。
	F2	種々のレベルの生活空間の現状の本質を観察・理解した上で計画・設計に対する課題（与条件）とそれに応える構想（コンセプト）を総合して独自の課題を設定する能力を身につける。
G	計画立案・実践力とチームワーク 設定した課題に対する制約条件を明確にした上で、専門知識を活用してチーム作業などを通して計画・実行・点検・フィードバックのプロセスを実践する能力	
	G1	卒業論文又は卒業計画を通じて教員を含む他者との協同作業を通じて目的を達成させるための課題を確実に遂行する能力を身につける。
	G2	設計演習・実験・実習課題を通じて、専門知識に基づく各種課題の分析・解決方法を立案し、その考え（理論）の適用限界を踏まえた実践的・計画的な課題の解決に取り組む能力を身につける。
	G3	実験・実習・演習課題にチームとして取り組み、他者との協同作業を通じて適切な作業目標を設定し達成する能力を身につける。
H	包括的な専門基礎知識と基礎能力 建築学・土木工学に関わる幅広い専門基礎知識と総合的かつ体系的な識見を有し、それを用いて生活空間を構築するための基礎能力	
	H1	国土から建築スケールにわたる多様なレベルでの生活空間構築に関わる理論（製図法、設計論、計画論、人文社会科学、統計的分析手法）、各種政策・制度を理解し、空間構築のための計画・設計・能力、幅広い地域政策や計画策定のための広い視野と能力を身につける。
	H2	生活空間（自然環境から人間活動まで）の構成諸要素による光、熱、空気、音、水環境の形成過程を理解し、これらを制御するための基礎能力を身につける。
	H3	自然環境、人口環境含む生活空間の安全を脅かす災害等に起因する力の流れ・力学挙動を正しく理解し、生活空間を維持するための構造形態、各種材料を用いた構造の特徴と強さ、構築物の安全や機能を確保する方法等、構造計画・設計のための基礎能力・知識を身につける。
	H4	金属、コンクリート、木材などの生活空間を構築する材料の種類と性質、その使用方法に関する基礎知識、並びに敷地設定、施工コストの見積りに不可欠な各種測量手法の基礎知識を身につける。
	H5	日本及び世界の建物並びに都市の空間様式と形態の歴史を学び、地域や都市における建物のあり方を総合的に理解するための基礎知識を身につける。
Ia	建築学分野の専門知識と応用力 生活空間の構築に関わる建築学及び建築学関連分野の専門知識を備え、それを計画・設計・施工・維持管理などに創造的に応用できる能力	
	Ia1	建築の計画・環境・構造に関する基礎知識を利用した公共構築物、集合住宅などの具体的建物・施設の設計、建築内外の熱、空気、光環境の形成メカニズムに関する知識とこれを定量的に評価する技術を駆使した環境制御の実践、周辺地域と調和する空間構築のための計画・調査の実践を通じて多様な機能・要求に応えつつ周辺環境と調和する生活空間を提案できる能力を身につける。
	Ia2	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造の構造性能の評価手法を学び、これらを用いて建物を構造設計できる基礎能力を養う。また建物の設計図書から建設されるまでの建築施工の基本的な工程と、そこでの建築技術と管理業務および地球環境に配慮した建築生産システムについての基礎知識を身につける。
	Ia3	卒業論文又は卒業計画を通じて建築学及び建築学関連分野の中でも自ら興味を持つ領域に関する専門知識を学習し、創造的に応用できる能力を身につける。
Ic	土木分野の専門知識と応用力 生活空間の構築に関わる土木工学及び土木工学関連分野（構造工学、水理学、地盤工学、土木計画学、材料学、環境工学）の専門知識を備え、それを計画・設計・施工・維持管理などに創造的に応用できる能力	
	Ic1	複雑で多様化した社会環境を評価し、風土と調和した豊かで安全な生活空間を、合理的に整備・構築するための調査、計画、マネジメント能力を身につける。
	Ic2	自然環境、地形・地質条件を評価し、災害に強く安心して利用し続けることができる社会基盤を、合理的に整備・構築するための調査、設計、施工およびメンテナンス能力を身につける。
	Ic3	社会環境及び自然環境に適合し、安全で居心地の良い生活空間を構築するための、建設材料および構造設計に関する知識を習得し、応用できる能力を身につける。
	Ic4	卒業論文又は卒業計画を通じて土木工学及び土木工学関連分野の中でも自ら興味を持つ領域に関する専門知識を学習し、創造的に応用できる能力を身につける。